

大阪城トライアスロン
(大阪市大阪城特設コース)

報 告

日 時:2020 年 10 月 11 日(日)

スタート:10 時 50 分(ローリングスタート方式)

参加者数:700 人

距 離:スタンダードディスタンス 51.5 km(スイム水質悪化で中止&バイク・ラン距離短縮)

結 果:総合 11 位(年齢別1位) 総合タイム 54 分 13 秒

(https://www.jtu.or.jp/result/?event_id=106&program_id=106_1)

スイム中止・バイク20km 36 分 40 秒(16)・ラン5km 17 分 20 秒(7)

※()内は種目内順位

コロナ禍の中で開催にこぎつけてくださった大阪府トライアスロン協会並びに日本トライアスロン連合そしてスタッフの皆様には大変感謝いたします。今シーズンは正式な大会(レース)は行われなく、アスリートは発表の場がないまま何とかトレーニングを継続しています。経済活動も動かす事が出来ず、サポーターやスポンサーの皆様に対しても様々なことが苦しさ中で踏ん張るしかない状況です。今回は大阪城のお堀の水位が下がり、現地入り後の晩にスイム中止が決定。大会も中止になるのかと感じさせられる雰囲気の中、何とかバイクとランは開催されレースが成立しました。

今回の想いは、感謝と今の自分がどのような状況なのかとの判断材料としての出場になります。翌週に控えたミドル(距離が長い)トライアスロンへの調整の位置決めでもありました。短い距離のレースはスピードが上がり、見た目以上にきついものなので、特に我々ベテランになるとそれが顕著に体、体力へ現れます。そんなレースでも上位にはベテラン勢が食い込んでくるのが昨今のトライアスロン界。レジェンドと言われる所以が出来上がってくるのです。

今大会はローリングスタート方式 **5 人ずつ 20 秒**間隔でスタートしていきました。(コロナ対策方式)レース中は自分の順位はわからない中でのレースを展開していきます。ただ、バイクを終えてトランジットしランへスタートしたときには、今回のカテゴリークラスではトップで発進。本当に久しぶりの前には先導者しかいない景色は感動しました。若い頃のレース展開を思い出すようです。そのままの順位で **5 km**を走りきり無観客のフィニッシュエリアへ入りゴールしました(写真)。寂しいものですが、それでも今回はレースが出来たこと感謝し次への希望をつなげられた大会、時間になりました。

今後とも夢の実行へと努力を積み上げていきますので、どうぞよろしく願いいたします。

プロマインド トライアスリート
福元テツロー





